

◎ バイオディーゼル燃料取組実態等調査の結果概要 (平成30年度実績)

* 調査対象事業体

- ・バイオディーゼル燃料原料の回収・購入、バイオディーゼル燃料の製造、利用に取り組んでいる全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会会員及び会員の傘下団体
- ・バイオディーゼル燃料施策・事業に取り組んでいる市区町村
- ・その他バイオディーゼルに取り組んでいる事業者等

* 調査対象期間

- ・平成30年4月1日～平成31年3月31日における実績
(調査時期:2020年1月～2020年3月)

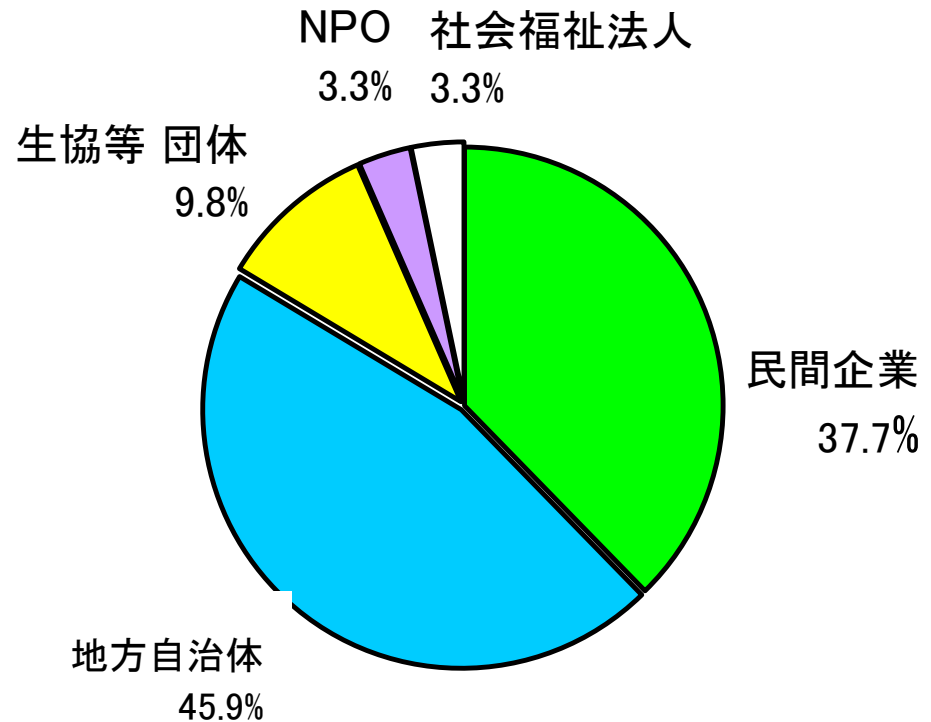
* 調査実施者

- ・全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会

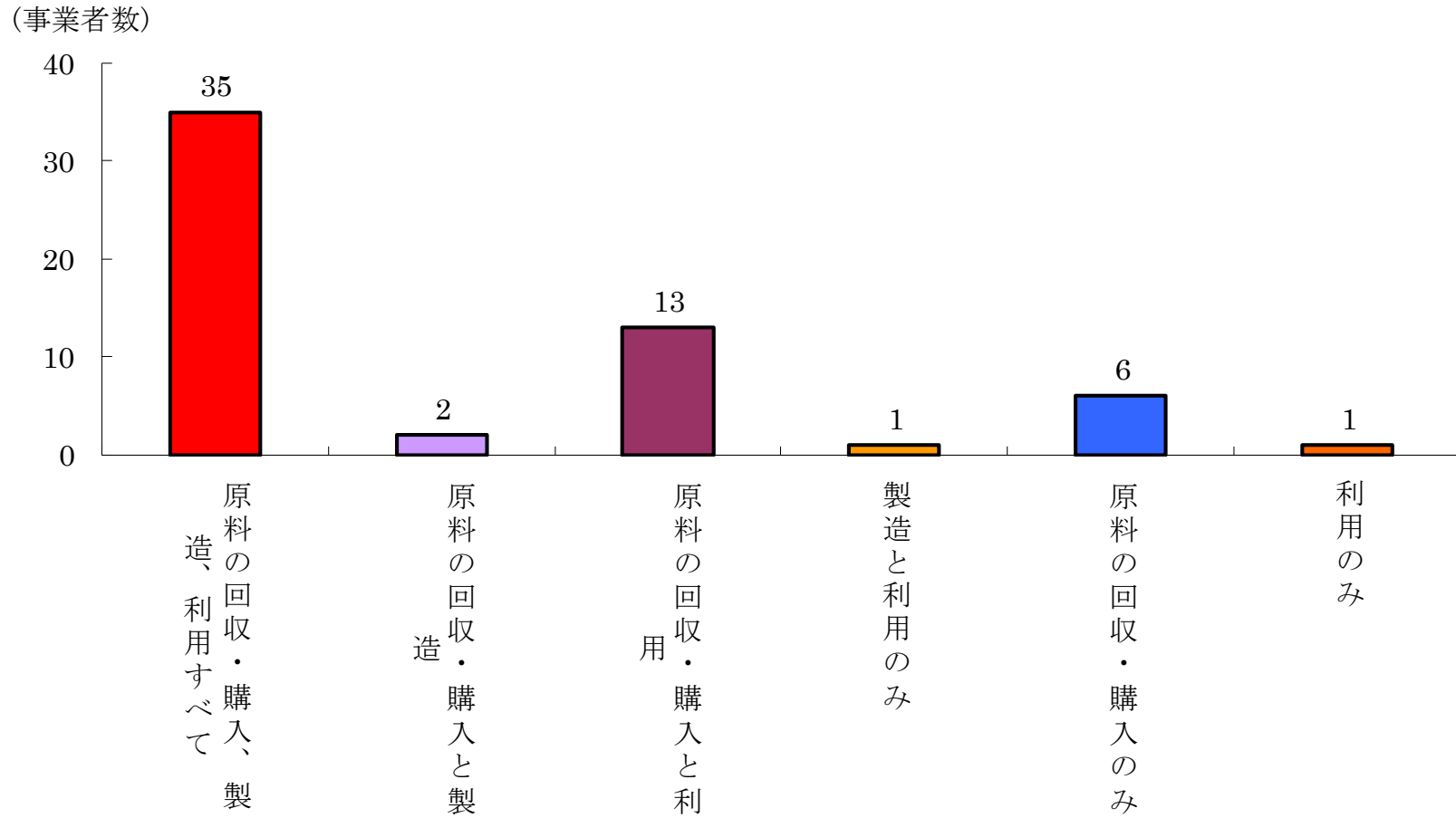
バイオディーゼル燃料の取組主体の組織

6 1 事業者から回答があった。

組織	事業者数	割合(%)
①NPO法人	2	3.3
②民間企業	23	37.7
③地方自治体	28	45.9
④社会福祉法人	2	3.3
⑤生協等団体	6	9.8
合計	61	100.0

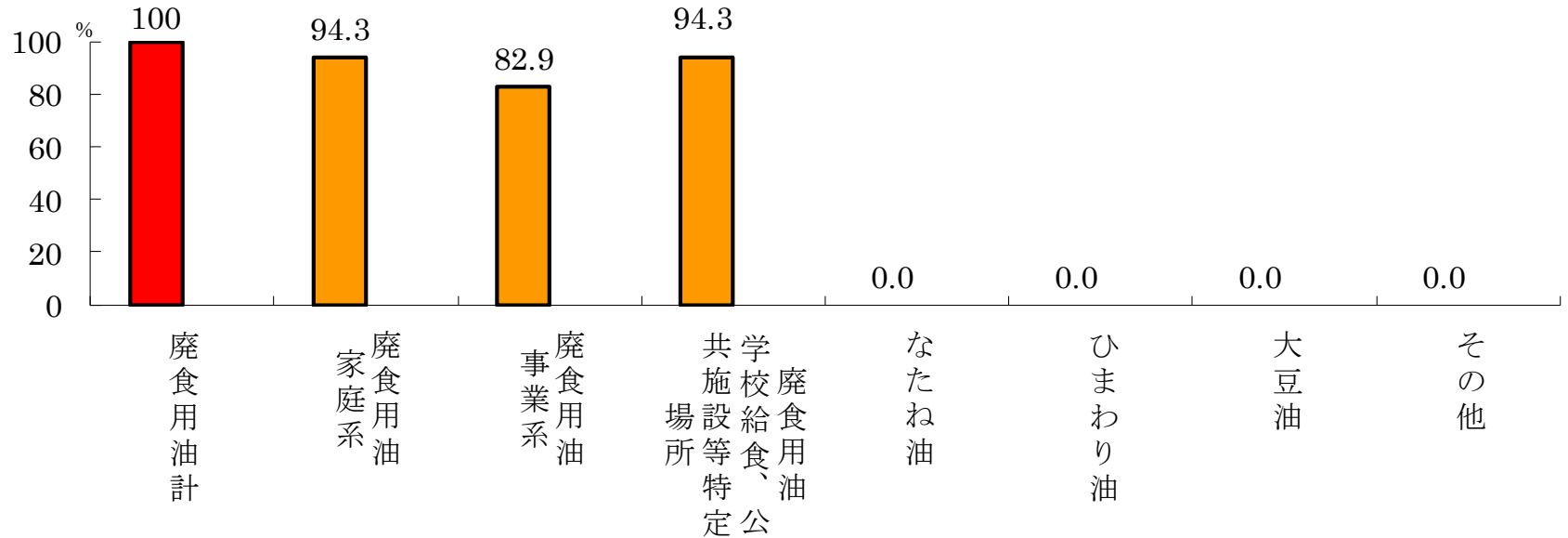


取組形態



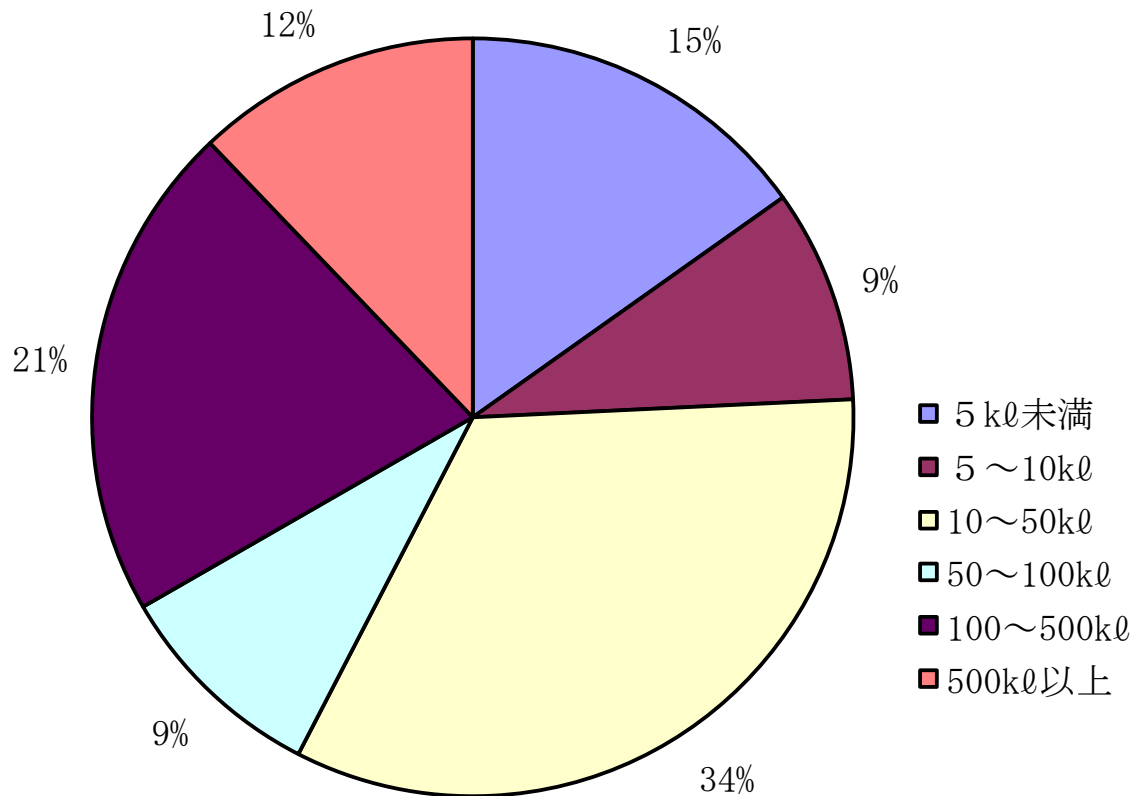
バイオディーゼル燃料原料の種類

燃料製造者(35事業者)の全てが「廃食用油」を利用している。
前年度から原料調達先に大きな変動はみられないが、事業系の回収回答数が若干減少した。



バイオディーゼル燃料製造量の規模(年間)

1事業者あたりの製造量の規模としては、年間10～50klが多い。



製造量と製造コスト

①年間製造量：13, 187kℓ(該当事業者33/平均410kℓ)

・全体的に、平均稼働日数に変化はみられなかった(約152日)が、回答した事業者合計の製造量は僅かに減少した。(昨年回答集計：13, 527kℓ)

* 前年比(2年連続回答者)：増産/5者、横ばい/2者、減産/24者

・回答者数は減ったものの、大規模事業者の増産が目立った。

②製造率：94.5%(回答事業者20の相加平均)

・投入原料から製造したバイオディーゼル燃料数量の割合

③製造コスト：139.1円/ℓ(回答事業者18の相加平均)

・回答のうち一部人件費等で高額の事象があり、協議会として推定(概算水準)すると約112円/ℓと計算される。

燃料利用(車両等)の種類別割合

◎ 40事業者から利用していると回答があった。(回答者は燃料提供者も含む)

・今回は、軽油混合（B5）利用の回答に実数が得られたので、列記した。

用途	ごみ収集車	バス	スクールバス	公用車	トラック	乗用車	農林機械等	建設現場	発電機	熱源	その他(特殊自動車等)
事業者数	13	9	3	9	25	9	9	4	9	7	17
合計台数	239	127	10	31	493	49	6	7	11	12	46
B100使用	115	12	5	9	172	11	6	7	10	11	22
B5使用	124	115	5	22	321	38	台数不明	台数不明	1	1	24

協議会活動に対する要望(45者から複数回答)

- ・バイオディーゼル燃料に関する情報提供
- ・車両以外の用途拡大の指針
- ・軽油引取税の見直し

などを挙げる事業者が多く、新しい情報提供への期待が窺え、協議会として今後は応えるようにしたい。

